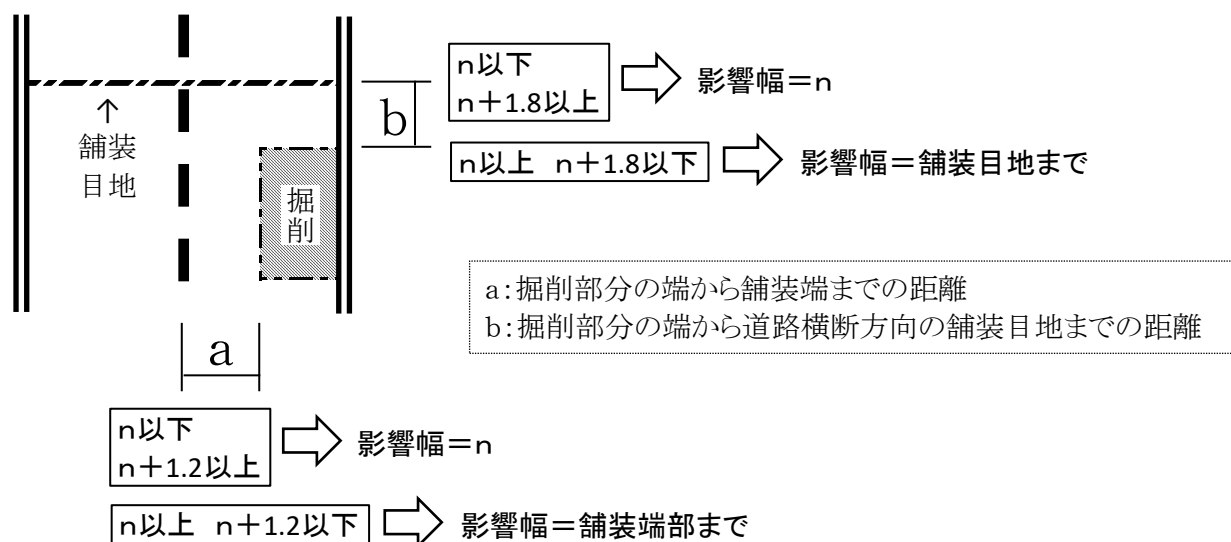


適用 道路種別	上段：掘削部分の端から舗装の絶縁線までの距離					
	下段：影響幅					
	道路端部方向			道路横断方向（舗装目地）		
	①=n	②=n+1.2	③	④=n	⑤=n+1.8	⑥
1級及び 2級町道	0.50 以下	1.70 以上	①以上②以下	0.50 以下	2.30 以上	④以上⑤以下
	0.50	0.50	舗装端部まで	0.50	0.50	舗装目地まで
その他町道	0.40 以下	1.60 以上	①以上②以下	0.40 以下	2.20 以上	④以上⑤以下
	0.40	0.40	舗装端部まで	0.40	0.40	舗装目地まで
歩道	0.10 以下	1.30 以上	①以上②以下			
	0.10	0.10	舗装端部まで			

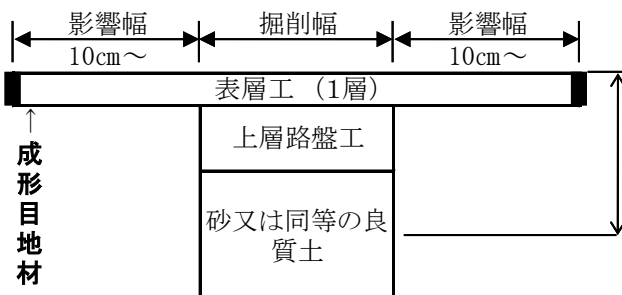
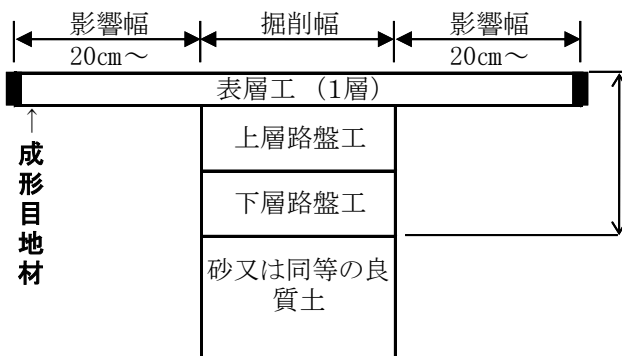
標準断面図	適用道路種別	k	t (路盤厚)			n	改め
		As	上層	下層	計		
標準断面図A	1級及び2級町道	1.0	0.12	0.40	0.52	0.52	0.50
標準断面図B	その他町道	1.0	0.10	0.30	0.40	0.40	0.40
標準断面図C	歩道	1.0	0.10		0.10	0.10	0.10



2 道路の構造、交通の状況、土質等の関係から前項に規定する部分についての表面仕上げによつては掘削前の構造耐力を保持することが困難であると認められる場合においては、表面仕上げは当該部分に加えて掘削前の構造耐力を保持するため必要な部分について行うものとする。

町道舗装復旧標準断面図（乗入）

（令和2年6月1日以降適用）

□	標準断面図A	乗 入 1 種	□	標準断面図B	乗 入 2 種・3 種																					
※あくまで標準図であり施工場所により影響幅が異なりますので、必ず担当者と協議すること。			※あくまで標準図であり施工場所により影響幅が異なりますので、必ず担当者と協議すること。																							
																										
<table><tr><th>層</th><th>使用材料</th><th>厚さ</th></tr><tr><td>表 層 工</td><td>⑤密粒度As(13F)</td><td>t= 5 cm</td></tr><tr><td>上層路盤工</td><td>クラッシャラン C-40</td><td>t= 25 cm</td></tr></table>			層	使用材料	厚さ	表 層 工	⑤密粒度As(13F)	t= 5 cm	上層路盤工	クラッシャラン C-40	t= 25 cm	<table><tr><th>層</th><th>使用材料</th><th>厚さ</th></tr><tr><td>表 層 工</td><td>⑤密粒度As(13F)</td><td>t= 5 cm</td></tr><tr><td>上層路盤工</td><td>クラッシャラン C-20</td><td>t= 10 cm</td></tr><tr><td>下層路盤工</td><td>クラッシャラン C-40</td><td>t= 30 cm</td></tr></table>			層	使用材料	厚さ	表 層 工	⑤密粒度As(13F)	t= 5 cm	上層路盤工	クラッシャラン C-20	t= 10 cm	下層路盤工	クラッシャラン C-40	t= 30 cm
層	使用材料	厚さ																								
表 層 工	⑤密粒度As(13F)	t= 5 cm																								
上層路盤工	クラッシャラン C-40	t= 25 cm																								
層	使用材料	厚さ																								
表 層 工	⑤密粒度As(13F)	t= 5 cm																								
上層路盤工	クラッシャラン C-20	t= 10 cm																								
下層路盤工	クラッシャラン C-40	t= 30 cm																								
<div>1. 住宅及び共同住宅等の普通乗用車等が通行する場合。 ※共同住宅は10台以下の車両駐車場の場合のみ該当。</div> <div>2. 影響部については申請箇所ごとに異なるため、 担当者と協議を必ず行うこと。</div>			<div>1. 農作業車両、店舗、駐車場、工場、倉庫等の大型、中型車、農業用の車両が通行する場合。</div> <div>2. 影響部については申請箇所ごとに異なるため、 担当者と協議を必ず行うこと。</div>																							

注 意 事 項

- 使用材料については、同等の**再生材の利用も可能**とする。（申請図面にその旨表示すること。）
- 掘削部分の端から舗装端部（舗装目地）までの距離が1.2m以内に既存の絶縁線がある場合は、掘削部分から絶縁線まで復旧するものとし、クラック等がある場合は、個別協議とする。
- 復旧舗装断面と既設舗装断面との間に **成形目地材** を設置すること。
- 復旧舗装断面及び掘削深は標準断面図を基本とするが、**横断掘削、縦断掘削、既設工作物、施工場所、設置する工作物等の種別及び事業内容により影響部が異なるため、事前に担当者から路面復旧範囲の確認を必ずすること。**